

# 第 85 回 沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部会議

## 議事概要

日 時：令和 3 年 3 月 19 日(金) 10:30~11:20

場 所：県庁 6 階 第 1 2 特別会議室

### ○ 会議の概要

#### < 報告事項 >

- ◇ 県内における新型コロナウイルス感染症の感染者数や広がり状況、医療提供体制等について、それぞれ所管する本部員から報告があった。
- ◇ 沖縄県緊急事態宣言終了後の状況、ワクチン接種に関する状況等について、各本部員から報告があった。

#### < 議題 >

- ・ 3つの議題「感染防止対策について」、「経済対策等について」、「移入例対策について」、その内容を協議した。
- 「感染防止対策について」は、検査体制・変異株監視体制の拡充、感染拡大の再発警戒に向けた注意喚起、及びワクチン接種の取組状況の3項目に基づき実施することを決定した。
- ・ 「経済対策等について」は、感染防止対策に配慮した県独自の当面の経済対策等について決定した。
- 「移入例対策について」は、県境をまたぐ往来について来訪者の皆様への依頼する事項について決定した。

## 1 参加者

玉城 知事、謝花 副知事、照屋 副知事、島袋 政策調整監、金城 知事公室長、池田 総務部長、宮城 企画部長、普天間 環境企画統括監、日下 県警本部長、大城 保健医療部長、名渡山 子ども生活福祉部長、幸地 農政企画統括監、上原 土木建築部長、松永 産業振興統括監、下地 観光政策統括監、伊川 会計管理者、金城 教育長、我那覇 病院事業局長、棚原 企業局長、真栄城 医療企画統括監、糸数 保健衛生統括監、国吉 八重山保健所長（TV会議参加：宮里 宮古保健所長、金城 宮古事務所長）

## 2 報告事項

### (1) 沖縄県内における新型コロナウイルス感染症患者の発生等について

#### ➤ 総括情報部から前日時点の新規陽性者及び療養者の状況について報告【資料1】

- ✓ 3/18 の新規発生は 43 名、合計 8618 名、入院中 146 名、うち重症 3 名、うち中等症 57 名、入院調整中 42 名、宿泊施設療養中 96 名、自宅療養 44 名で療養中患者計 328 名となっている。

- ✓ 昨日の陽性者一覧の特徴として、社会福祉施設で従業員から利用者に感染したクラスターがあり、現時点で 11 名となっている。市町村の PCR 事業で 1 名の陽性が見つかっており、この後施設利用者等に対する調査が行われる予定。

➤ 病院事業局から県立病院に入院している患者の状況等について報告

- ✓ 県立病院全体で本日 27 名入院しており、3/8 の報告より 16 名の増加である。確保病床の 35.1%を占めている。
- ✓ 北部病院は 2 名、中部病院 5 名、南部医療センター 8 名、宮古病院 2 名、八重山病院 9 名、精和病院 1 名となっている。
- ✓ 県立北部病院は、非コロナ病床稼働率が約 80%で、北部は全体的に落ち着いている状況である。
- ✓ 南部は救急受け入れ停止や、本日まで ICU 改修工事中の病院がある。

(2) 米軍基地内における新型コロナウイルス感染症患者の発生等について

➤ 総括情報部から、米軍基地内で確認された新規感染者数について報告【資料 2】

- ✓ 3 月 18 日の昨日 1 日で 10 名発生しており、嘉手納基地 3 名、キャンプハンセン 2 名、キャンプフォスター 4 名、トリイ通信施設 1 名となっている。見つかったきっかけは、発症して検査した方、入国検疫後の検査で陽性になった方、濃厚接触者で検査を受けた方と、様々であり、大きなクラスターではないと考えられる。

(3) 沖縄県内及び全国の感染状況について【資料 3、3-1~3-9】

➤ 総括情報部から、警戒レベル判断指標の状況や各種分析資料について報告

- ✓ 新規感染者数が 213 人となり、2/10 以来の第 4 段階の数値となっている。療養者数も 328 人と、後 2 人で第 4 段階となり、感染経路不明な割合も 49.8%と次の段階に近づいており、増加傾向が収まっていない状況にある。
- ✓ 新規感染者数は平均 30 名を超えており、また、10 日間続けて新規感染者数が前週を上回っている状況にある。宿泊療養者数は増えてきているが、入院者数や中等

症以上の数は大きく増加している状況にはない。

- ✓ 非コロナの病床利用率は、昨日の本島の合計が 93.5%、総合計が 92.6%となっており、横ばいか少し増減を繰り返している状況である。
- ✓ 直近 1 週間の人口 10 万人あたり新規感染者数を全国と比べると、沖縄県は 13.64 人で全国第 3 位。一番多いのは宮城県で、2 番目が東京都という状況になっている。
- ✓ 直近 1 週間の県内の保健所管内の地域別の感染状況を見ると、月曜日には、那覇市・中部・南部が増えていると報告したが、八重山が 8 名と増加、中部地区が特に増加の途中にある状況となっている。
- ✓ 警戒レベル指標の 1 週間毎の状況について、少しずつ増加傾向にある状況となっている。
- ✓ 新規感染者に占める 60 歳以上の割合は、高齢者が多いというよりは、若い人が中心で 50 代以下の割合が高い状況が続いている。活発な若い世代での感染が続いている。
- ✓ 中等症以上の患者の 1 週間毎の状況については、先週よりも減り、平均 53 名、入院が必要な患者は増えてはいない状況にある。

#### (4) 宿泊施設の運用状況について【資料 4】

- 配布資料のとおりであり、説明を省略した。

#### (5) 沖縄県人口変動状況について【資料 5】

- 前回と同一の資料であり、説明は省略した。

#### (6) クラスターの発生状況について

- 総括情報部から、最近確認されたクラスターの状況等について報告
  - ✓ 136 施設、1698 名のクラスターが確認されている。
  - ✓ 3 月 1 日以降発生したクラスターは 6 件であり、社会福祉施設、飲食等であり、石垣市のガールズバーは店名を公表して注意を呼びかけている。

#### (7) 宮古・八重山地域の感染状況について【資料 6】

➤ 総括情報部から、昨日時点の宮古・八重山地域の状況を報告

- ✓ 宮古地域は、療養者数2名で入院しており、直近の新規陽性者は2名となっている。
- ✓ 八重山地域は3/14に1名、3/16に4名、3/17に2名で、ガールズバーのクラスターで追跡を行う中で見つまっている。多数の方がまだ連絡が取れていないという情報もあるため、呼びかけをしている状況である。
- ✓ 宮古保健所から補足説明、保健所の疫学調査で2名の患者の濃厚接触者が約20名ほどおり、PCR検査の受検、又は2週間の健康観察による追跡を行っている。
- ✓ 八重山保健所から補足説明、ガールズバーのクラスター関係8名や、成人式関連といった若い20代の方の陽性者が有り、この方々から高齢者にうつさないように注意喚起を行っている。

(1～7までの報告事項に関する主な発言)

質疑なし

(8) 沖縄県緊急事態宣言終了後の状況について【資料7-1から7-3】

➤ 総括情報部から、飲食関係の陽性者や移入例について報告

- ✓ 推定感染源が飲食関係の陽性者について、緊急事態宣言中は比較的抑えられていたが、宣言終了後から33名、32名と少しずつ増加・横ばいとなっている。今後送別会等で増えないように呼びかける必要がある。
- ✓ 外出自粛要請の資料については、新たな情報の更新がないため、前回と同じ説明となるが、緊急事態宣言期間とその後の期間では、かなり人の動きに戻りが見られる状況にある。その傾向が今も続いていると考えられる。
- ✓ 移入例は、県外来訪者、県民が往来して感染した場合、県外から来た人と接触して感染した場合となっている。1月は多かったが、それが収まってきていたところであるが、3/9-3/15は10名となっている。3月の増加については、県民の首都

圏等との往来、県外からはスポーツ合宿による移入例で増えてきている。

#### (9) ワクチン接種について【資料8】

- 総括情報部からワクチン接種に関して報告
- ✓ 医療従事者向けは 3/5 からワクチン接種が始まっている。第1弾から第3弾までが届くと 49,920 人分、対象者の 87%となり、かなりの数の医療従事者への接種ができる見込みとなる。3/18 時点で県内の接種者は 6,910 人となっている。
- ✓ 住民向けの接種状況は、4/5 の週に沖縄県に 2 箱届くため、うるま市と宮古島市に 1 箱ずつ翌週に接種する方向で調整中である。次の週の 20 箱については、市町村と調整して検討中である。4/26 の週に 41 箱が配送され、全ての市町村に届く予定。5 月上旬に全ての市町村で接種開始する予定。
- ✓ ワクチン接種にかかる副反応等について相談できるコールセンターを 3/15 から稼働中。

#### (10) 変異株の確認について

- 衛生環境研究所から変異株の速報値について報告
- ✓ 衛研で変異株の陽性株を集めて、概ね 1 週間毎にスクリーニング検査を行っている。昨日、70 数例のスクリーニングを行ったところ、内 1 例について 501Y の変異株に当たるという判定を行った。今から、国立感染症研究所に送り詳細な分析を行っていただく予定。陽性者の年代など疫学調査の突き合わせはこれからであり、わかり次第、ご報告する。

#### (11) N A P P の運用状況等について【資料9】

- 文化観光スポーツ部から N A P P 等の運用状況を報告
- ✓ N A P P では 3/15 から 3/18 までの報告であるが、先週は 7 日分だが今回は 4 人分のためマイナスとなっている。
- ✓ R I C C A については、登録者数が 77,000 人あまり、登録事業者数が 7,000 件余りとなっており、前回と比較してそれぞれ 1,200 人、140 件余り増加している。

- ✓ T A C O 及び企画部の安価な P C R については、前回と報告内容に変更はないため説明は省略。
- ✓ 現在、県の緊急事態宣言解除後の再発警戒段階への移行期であること、1 都 3 県の国の緊急事態宣言が解除に加え、3 月下旬から 4 月上旬にかけて県をまたぐ往来が活発になるシーズンであることを考慮して、NAPP において期間限定の取組を実施することで水際対策の強化を図る。
- ✓ 検査料金の学割の導入として、現在、県外在住者 7000 円、県内在住者 5,000 円となっているところを、学生は割安で 3,000 円で実施したいと考えている。割引期間は 3/19~3/31 で計画している。

#### ( 8 ~ 11 の報告事項に関する主な発言 )

- ✓ 変異株の件は、県民への公表時期をどのように考えているか。
  - 総括情報部より、県衛生環境研究所のスクリーニング検査で陽性になり、疫学情報等もそろい次第、速やかに公表したいと考えている。できれば本日、情報が入れば公表したいと回答。
- ✓ 学生対象の割引について、こういった形で広報していく予定か？
  - 総括情報部より、本日午後に知事の記者会見を予定しておりその中で今日からということを広報していく、また、ホームページでも周知していきたいと考えていると回答。
- ✓ 学生の割引対象は個人か、それとも修学旅行の学生も対象か？
  - 文化観光スポーツ部より、修学旅行も含めて対象となる。学生証で確認した上で、学生であれば対象となると回答。
- ✓ 3 月に予定している修学旅行は何校あって何名来る予定か？
  - 文化観光スポーツ部より、手元に資料がないと回答。
- ✓ 混乱を来すことがないように告知の際には、分析・検討を行った上で、告知の方法や、先方が受けたい際に、人数が限定されるのか、全員受けられるのか、受付方

法についてもしっかりと確認を行っておくこと。

→文化観光スポーツ部より、事前の予約制で前もって受付し、その段階で整理を行うことと、事前になるべく出発地で検査を受けていただきたいと繰り返し伝えたいと考えていると回答。

### 3 議題

#### (1) 感染拡大防止対策について

- 総括情報部から感染拡大防止対策について説明。【資料 10】
  - ✓ 直近の感染拡大の主な要因、宣言が明けてこの3週間、どういったことが沖縄県で起きて陽性者が増えてきたか要因を説明(1 ページ)。
  - ✓ 主な判断指標の状況で警戒レベル判断指標、注目すべき指標について 3/18 時点と、宣言終了時の 2/28 時点を比較 (2 ページ)。療養者数は増加、病床占有率は横ばい、重症者用病床占有率は増加、新規感染者数は増加し第 4 段階、感染経路不明者の割合、検査の陽性率は増加となっている。注目すべき指標の入院患者数及び中等症以上数は減少している。
  - ✓ 新規感染者数は 2 月の中旬以降横ばいであったが、少しずつ増えていっている。3/1 からは再発警戒段階であったが、警戒を強めないといけない状況にある (3 ページ)。
  - ✓ 今後の新規感染者数について先週、先々週の増加割合がそのまま続くと見なしで推計している。3/10-3/17 は 40%増なので、そのまま続くと 4/15 には 1 週間で 700 人に達して第三波のピークを超える数になりかねない。週 20%増だと 4/15 に 400 人、逆に週 10%減らすことができれば、4/15 に 100 人程度となる (4 ページ)。
  - ✓ 5 ページから 18 ページについては、読み上げて説明。
  - ✓ 新型コロナウイルスの感染経路とその回避策については、これまでも示してい

るが、接触感染については手洗い、飛沫感染についてはマスク着用、マイクロ飛沫については換気ということを繰り返し伝えたい(19 ページ)。

## (2) 経済対策等について

### ➤ 商工労働部から、経済対策等について説明。【資料 11】

✓ 感染状況の落ち着きに合わせて県経済のダメージ回避に向け経済対策を強化していきたいところであり、現下の経済状況を踏まえ感染防止対策に配慮した県独自の当面の経済対策等について実施する。

✓ 「ハピ・トク沖縄クーポン第 2 弾」、「おきなわ彩発見キャンペーン第 3 弾等」、「一時支援金のサポート体制」、及び今後予定している「生活福祉資金」について資料を読み上げて説明。

✓ 「ハピ・トク沖縄クーポン第 2 弾」(2 ページ)

登録店舗数は、3/18 時点で合計 1,066 店舗。その内、飲食業が 456 店舗約 43%、小売業(漁協や給油所含む)434 店舗約 41%、旅行宿泊業 167 店舗約 16%、その他(鍼灸・マッサージ、畳店、タクシー、理美容等)71 店舗約 7%等となっており、幅広い業種で利用できる。

市町村別では、小規模離島での利用が懸念されているが、JA等の協力により 41 市町村中 39 市町村で利用が可能となっている。登録されていない渡名喜村、与那国町には、JAや漁協での利用が考えられるので、早急に登録を呼びかけていきたい。4 月 1 日~6 月 30 日となっている。

✓ 「おきなわ彩発見キャンペーン第 3 弾等」(3 ページ)

✓ 「一時支援金のサポート体制」(4 ページ)

✓ 「生活福祉資金」(5 ページ)

✓ 当面の経済対策として令和 2 年度 2 月補正、令和 3 年度当初予算を活用した経済対策関連と、セーフティネット関連として緊急小口資金に関して令和 2 年度 3 月補正を計上予定となっており、合計で 975 億円が当面の経済対策となつて

いる。

### (3) 移入例対策について

➤ 総括情報部から、移入例対策について説明。【資料 12】

- ✓ 県境をまたぐ往来について来訪者の皆様へについて、資料 12 を読み上げて説明。

### (1～3の議題に関する主な発言)

- ✓ 琉球大学で、簡易にして迅速な検査方法についての新聞報道があったが、県に対して情報提供があったか。6月から販売体制が整うようだが県として導入するか。  
→総括情報部より、県の専門家会議で琉球大学の先生が委員であるが、宿泊療養施設の陽性者の方の検体を提供する形で琉大の研究に協力している。そのような形で研究内容を把握し、商品化に向けて調整を進めていることも把握している。今後、実用化までどの程度時間がかかるか把握してはいないが、引き続き協力できることがあれば協力していく。保健医療部で導入するかどうかは今後情報交換をしていきたいと考えていると回答。
- ✓ 資料 10 の 9 ページに関して居場所の切り替わりを休憩室・更衣室・喫煙室として  
いるが、過去、洗面所でクラスターが発生しているので、加えた方がよい。  
資料 10 の 11・12 ページにて卒業式、入学式の後に入社式を加えた方がよい。また、開催方法として、時間差開催・分散開催・web開催等を追加しては。  
→総括情報部より提案どおり修正する旨、回答。
- ✓ 表敬時等において、マスコミよりマスクを一時的に外すよう依頼されることもあるが、どうした方がよいか。  
→総括情報部より飛沫が飛ぶことが感染の要因の一つであるため、マスクを外す際に発声を伴わなければ、大声を出さなければ、飛沫が飛ぶ心配がないため短い時間であれば、リスクが許容できるものと思われると回答。

- ✓ 学生向けの PCR 検査の割引は 3 月で終了予定か  
→文化観光スポーツ部より今年度は 3 月いっぱいとしているが、次年度も対応できるように調整している状況であると回答。
- ✓ 資料 10 の 12 ページで、大人数での旅行は控えるとなっているが、修学旅行と卒業旅行等との区別について考え方を確認したい。  
→総括情報部より春先の県民への呼びかけとしてこの資料は作成している。(県外からの) 修学旅行の場合は学校において感染対策をしっかりと行った上で来る前提で考えており、個人旅行等とは異なると考えていると回答。
- ✓ 県外から来られる修学旅行生の方々に学校や旅行社を通して呼びかけていることがあれば報告してもらいたいが、検討状況はどうか。  
→教育庁より県外から来られる学校については、教育委員会では周知できないところであるが、県内の生徒については、重要な体験・経験であるため、次年度は感染防止対策に留意した上でできる限り実施する方向で検討していると回答。  
→文化観光スポーツ部より県外から来られる方々に対しては、出発前に健康観察を実施した上で来県されるよう呼びかけている。修学旅行に特化したガイドラインや動画の配信を行っている、また、感染した場合には、保険適用外の部分についても適用できることを周知するなど対策を取っていると回答。
- ✓ 資料 10 の 4 ページの新規感染者数の推計について、感染症専門家の実行再生産数等のエビデンスに基づき実施しているか。  
→総括情報部より、実行生産数については翌週の推計を算出しているが、今回の資料は長期的推測となるとそのまま使用できないため、このような資料を提供していると回答。
- ✓ 資料 12 について、雇用者も積極的な受検の呼びかけをとあるが、飲食業等の団体を通して事業者への呼びかけをどのように考えているか。  
→商工労働部より、これまでも飲食業組合と色々と意見交換をしているので、今

回の件も意見交換を行いたいと回答。

- ✓ 資料 11 の生活福祉資金について、多くの県民の皆様にご利用していただきたいと考えているが、貸付期間について、わかりづらい表現となっている。

→子ども生活福祉部より、表現方法について検討する旨回答。

- 最後に、3つの議題に関して、本日、発表することを確認した。

<議題のまとめ>

☆3つの議題「感染防止対策について」、「経済対策等について」、「移入例対策について」、細部に修文の必要な箇所の指摘があるため、総括情報部にて修正することを確認。

## 4 その他報告

- 総括情報部より次年度の感染症対策課の体制について協力依頼。

- ✓ これまでは総括情報部に地域保健課の一部が入り、本務 24 名体制（兼務含む）を配置し、それに業務応援を加えて、現在、58 名体制で稼働している。

- ✓ 令和 3 年度は、感染症対策課として 37 名に加え、最大 MAX 時に 81 名体制になるように、3 段階を考えている（兼務：最大 44 名）。

- ✓ 現在の状況 58 名体制を確保するために感染症対策課 37 名に加えて、4 月 1 日から兼務となる職員 21 名を各部局に総務部を通じて依頼中であり、非常に厳しい状況にあると思うが、ご協力をお願いします。

- ✓ 4 月からの兼務体制は、ワクチン業務が新たに増えたことと、58 名は第 2 段階の体制であるが、すでに第 3 段階にあるため、ご協力をお願いします。

- 本部長

- ✓ 各部局とも人員確保は大変だと思うが、感染の再拡大を抑え込み、来月以降の円滑なワクチン接種につなげるためにも兼務発令へのご協力をお願いします。

- 副本部長

- ✓ 併せて、民間企業からの臨任に関して総務部から色々と呼びかけていると思われ

るが、各部局ともそういったものを活用して、年度初め業務が大変な状況と思われるが、お願いしたい。

## 5 閉 会